

令和 4年10月11日

(資料提供先) 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

VR技術を活用した 橋梁点検講習会の開催！



～自治体職員向けの橋梁点検講習会を開催します～

中国道路メンテナンスセンターでは、橋梁点検初心者を対象とした、橋梁点検講習会の実習を、より安全かつ効率的に再現することを目的として「VR技術を活用した橋梁点検・診断講習ツール」を開発しました。

今年度より本ツールを使用した自治体職員向けの講習会を順次実施しており、安芸太田町及び北広島町、広島県安芸太田支所の職員を対象に下記日程にて、VR橋梁点検講習会を開催いたしますので、お知らせいたします。

○日 時 令和 4年10月18日 (火) 13:30～16:30

※コロナ等の状況により、日時の変更や中止をする場合があります。

○場 所 安芸太田町役場 東館2階 大集会室 ※詳細は「別紙-1」のとおり

○実施内容 VRを活用した橋梁点検講習会 ※カリキュラム等詳細は「別紙-2」のとおり



VRコンテンツ及び講習会イメージ

【取材について】

- ・取材される場合は、事前に問い合わせ先の「担当」まで連絡をお願いします。

【新型コロナウイルス感染症対策についてのお願い】

- ・取材中はマスク着用の徹底をお願いします。(消毒液、非接触型体温計は用意しています)
- ・当日、体調不良(発熱、咳等の風邪の症状)が見られる場合は取材をご遠慮ください。

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局

中国道路メンテナンスセンター

(担当)

センター長

技術課長

TEL 082-824-3460 (代表)

山口 克己 (やまぐち かつみ)

渡辺 誠 (わたなべ まこと)

【実施場所】



安芸太田町役場 東館2階 大集会室
〒731-3810
広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784番地1

別紙-1に使用している地図：出典：国土地理院「地理院地図（電子国土（web））」

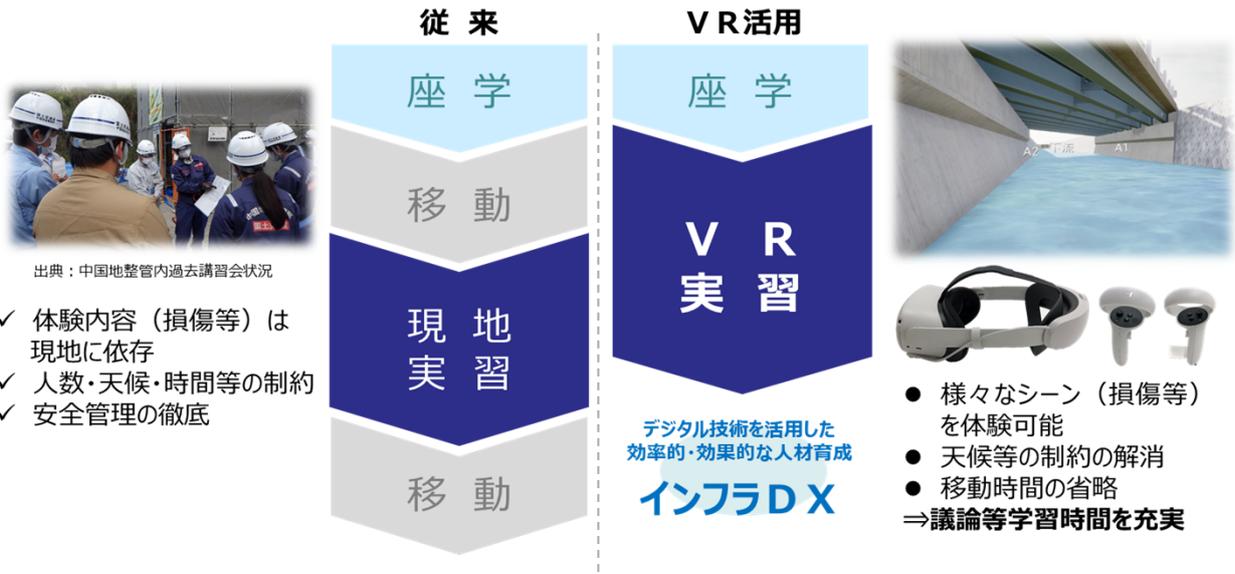
■ VR技術を活用した講習会ツール開発の背景と効果

【VR実習のコンセプト】

- 橋梁点検の初心者にとって、直営点検の足掛かりとなること
- 小規模橋梁（例：H形鋼橋、RC床版橋、2径間PC床板橋）を対象
- VRを活用した健全性の「診断」に関する実習

【VR実習の意義】

- 現地に行かなくても可能な、効率的・効果的な実習手段
- 現地実習では体験できないようなケースを含んだ実習を実現（例：様々な状態・環境等／IV判定等の著しい劣化状態等）



移動等も含め半日で1橋の実習 ➡ 約3時間で2橋種の実習が可能！

■ 講習会カリキュラム

| カリキュラム | | 配分時間 | 備考 |
|--------|---------------|------|------------------------------------|
| 座学 | 点検診断のポイント | 60分 | |
| VR実習 | ①目的・実習の流れ | 10分 | |
| | ②対象橋梁（モデル）の説明 | 5分 | RC床版橋、H形鋼橋、2径間PC床板橋より2橋を選択 |
| | ③VR操作方法の説明 | 5分 | |
| | ④A班VR実習 | 20分 | A班：VR体験／B班：モニター視聴 |
| | ⑤所見の回答作成 | 20分 | 診断結果の作成 （A班はグループディスカッション／B班は個人） |
| | ⑥所見の解説・意見交換 | 10分 | A班代表者が回答発表⇒意見交換＋回答資料の解説 |
| | ⑦B班VR実習 | 20分 | B班：VR体験／A班：モニター視聴 |
| | ⑧所見の回答作成 | 20分 | 診断結果の作成 （B班はグループディスカッション／A班は個人） |
| | ⑨所見の解説・意見交換 | 10分 | B班代表者が回答発表⇒意見交換＋回答資料の解説 |
| | VR実習計 | 120分 | |
| | 自由体験 | 30分※ | |